

## ダニエル書 - 第百三十九号

ダニエル書11章40節の預言と現代政治の現実の一致：最後の大統領の謎を  
解き明かす

Jeff Pippenger  
2024-03-16

私たちは、ダニエル書11章40節を、同章の1節と2節と照らし合わせて検討している。1節は「終わりの時」が1989年であることを示し、40節もまた、1989年11月9日のベルリンの壁崩壊に象徴されるソビエト連邦の崩壊によって、同じく1989年の終わりの時を示している。

第2節は、1989年以降のアメリカ合衆国の6番目の大統領が歴代大統領の中で最も裕福だと特定し、したがってドナルド・トランプを指し示している。そうすることで、第3節に登場するアレクサンドロス大王のギリシア帝国であるギリシア全体を、トランプが「奮い立たせる」ことを示している。第3節と第4節のギリシアの王国は、ダニエル書第11章における世界的な王国の象徴である。

ウィリアム・ミラーは「歴史と預言は一致する」という言葉を生み出したが、ドナルド・トランプの歩みは、彼が米国の過去8人の大統領の中で最も裕福だっただけでなく、米国のグローバリスト、さらには全世界がドナルド・トランプに、あまりに非論理的で多くが狂気とまで呼ぶほどの憎悪を向けていることを示す、反論の余地のない証拠となっている。

1989年に始まる最後の8人の大統領の最初の人物は、さまざまな点でトランプを明確に体現しており、第二節における第六の大統領が最終的には第八で最後の大統領となることを裏づけている。八人の系列の最初としてのレーガンは、第八で最後の者を型どることになる。というのも、イエスは常に、物事の終わりをその始まりによって示されるからである。

1989年の「終わりの時」に在任していた大統領ロナルド・レーガンの証しは、預言的に、八人の大統領の最後となる大統領を象徴している。レーガンの後には七人の大統領が続くことになる。というのも、間近に迫る日曜法において、米国は聖書の預言における第六の王国としての役割を終え、その日曜法に至る過程で米国は獣の像を造り、その獣は七つの獣に属する第八だからである。レーガンは1989年の「終わりの時」における最初の大統領であり、最後は第八、すなわち七つに属する者となる。

レーガンは、1987年6月12日、ドイツ・西ベルリンのベルリンの壁近くにあるブランデンブルク門での演説の最中、ソビエト連邦共産党の書記長ミハイル・ゴルバチョフに向けて、こう述べた。「ゴルバチョフ書記長、もし平和を求めるなら、もしソビエト連邦と東欧の繁栄を求めるなら、もし自由化を求めるなら、この門に来てください！

ゴルバチョフ氏、この門を開けてください！

ゴルバチョフ氏、この壁を壊してください！」最近の8人の大統領のうち最初の人物である彼の最も有名な一節は、その二年後の1989年11月9日に壁が取り壊されることの実現

を告げるものとなった。

そうすることで、壁を取り壊すことを強調したレーガンの言葉は、第八代大統領に語りかけた。その人物は第六代大統領になろうとして選挙戦を戦っていた際に、「壁を建てる」という公約に基づいてキャンペーンを展開していた。最後の八人の大統領のうち最初の者が壁を取り壊すよう呼びかけ、そしてベルリンの壁は1989年、終わりの時に取り壊された。間もなく到来する日曜法においては、政教分離の「壁」が取り払われるが、これは1989年の始まりによって示されている。その期間の中頃には、グローバリストたちを刺激する第六代大統領が、彼らの望まない壁を築こうと試み、そして彼が再び「七人のうちの八番目の大統領」となるとき、別の「壁」が取り壊されるだろう。

八人の大統領のうち最初の者は、終わりの時を示していた壁が取り壊されることによって印づけられており、これはダニエル書11章40節に表されている。そして八人の大統領の最後の者は、十四万四千人の封印の時の終わりを示す「壁」が取り壊されることによって印づけられており、これはダニエル書11章41節に表されている。

レーガン大統領は、民主党から共和党へと転じた経歴を持つ元メディアのスターで、明晰な弁舌と深いユーモアのセンスで知られ、ワシントンD.C.のエスタブリッシュメントに対抗して選挙運動を展開した財政保守の人物だった。しかし、国の首都に深く根を下ろしたエスタブリッシュメント（「沼」）に対抗した最初の選挙戦でのレーガンのレトリックにもかかわらず、彼は結局、当時までのどの現代の大統領よりも高い割合で、確固たるグローバリストの政治家を閣僚ポストに任命することになった。さらに彼は、副大統領には、家系のルーツがグローバリストの歴史に遥か以前から連なる人物であるジョージ・ブッシュ世を選ぶに至った。

トランプは、自ら「沼」と呼ぶエスタブリッシュメントの一掃を掲げて選挙運動を行ったが、彼の側近人事の実績は、彼の最大の弱点を浮き彫りにしている。そうした人々のほとんどは、トランプがあればほど断固として反対する「沼」の代表者だった。トランプはレーガンと同様、元民主党員から共和党に転じ、元メディアスターで、弁舌で知られ、深いユーモアのセンスを持つ財政保守派だった。

アメリカ合衆国の最後の大統領は、アメリカ合衆国において教皇権の像（獣の像）が形成されるときの大統領である。したがって、1989年以来、数えて八番目であり最後となる大統領は、竜の勢力に対する戦争に関与することになる。というのも、教皇権は長期にわたる竜との戦いのさなかに、538年には竜の勢力によって初めて権力の座に就けられ、1798年には同じ竜の勢力によってその座を奪われ、さらに、彼らの第七の王国を教皇権に与えることに同意する十人の王によって表される竜の勢力によって再び権力の座に就けられ、その後、彼女を火で焼き、その肉を食らい、助ける者なくその終わりに至るとき、彼らは教皇権という獣を廃位させるからである。

八番目となる大統領は、すなわち七人のうちの一人でもあり、ドラゴン勢力との戦争に関与する大統領でもある。その戦争は、六番目で最も裕福な大統領がグローバリストのドラゴン勢力全体を扇動するとき明らかに。1989年から始まる最後の八人の大統領のうち、二人はすでに死去しており、ドラゴン勢力との戦争に関与しうる大統領は六人残っている。

その六人のうち、四人は公然と竜の勢力に支えられたグローバリストである。六人のうちの一人は、父と同じく自分は共和党員だと公言しているが、名ばかりの共和党員であり、父と同様にグローバリストの竜の勢力の代表者である。存命の六人の大統領のうち、はっきりとグローバリストではないのは一人だけで、彼はグローバリストたちを騒がせる大統領である。直近の八人の大統領の中で、竜の勢力との戦争に関与するという観点で教皇制のイメージの要素を満たしうるのは彼だけである。

共和党の初代大統領は、米国の南北戦争に関する、この事実そのものに言及する聖典の一節を引用したことでよく知られている。

イエスは彼らの思いを知って、こう言われた。「自分自身に逆らって分裂したどんな国でも荒廃し、自分自身に逆らって分裂したどんな町や家でも立ち行かない。もしサタンがサタンを追い出すなら、彼は自分自身に逆らって分裂しているのだ。では、どうして彼の国が立ち行くことができるだろうか。もしわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出しているのなら、あなたがたの子らはだれによって悪霊を追い出しているのか。だから、彼らがあなたがたの裁き手となる。だが、もしわたしが神の霊によって悪霊を追い出しているのなら、確かに神の国はあなたがたのところに來ている。」マタイによる福音書 12:25-28

ギリシアの国をかき乱した最も裕福な大統領に対する竜の戦いは、ドナルド・トランプとグローバリストとの間のものにほかならない。というのも、他の五人の存命の大統領は皆、反米的なグローバリストだからである。リンカーンが前の節を引用して、国が奴隷制支持派と奴隷制反対派という二つの陣営に分裂していることに対処しようとしたとき、彼は奴隷制支持の民主党と奴隷制反対の共和党に向けて語っていたが、そうすることで、最後の共和党大統領が自ら代表し率いるMAGA主義の運動によって掻き立てる、グローバリストの民主党との終末の戦いについても語っていたのである。

最初の共和党出身の大統領として、リンカーンは最後の共和党大統領を象徴している。最後の大統領は、1989年の終わりの時の共和党大統領によっても象徴されている。この二人の証人は、自分たちが象徴している大統領が共和党であることを明らかにしている。1989年の終わりの時の共和党大統領は、単に共和党員だったというだけでなく、最後の八人の大統領のうち最初の大統領でもあった。最後の大統領は、初代大統領にして初代最高司令官であるジョージ・ワシントンによっても象徴されることになる。

ワシントンもまた、1776年に象徴される時代における最初の大統領によって象徴されており、その最初の大統領（ペイトン・ランドルフ）は、七人によって表された八つの期間において務めた七人のうちの一人だった。ランドルフは八人のうちの最初であり、したがって、同じく八人のうちの最初であり、しかも「七人に属する第八」でもあったレーガンを表していた。したがってランドルフは、ワシントン（初代大統領）、リンカーン（最初の共和党大統領）、レーガン（最後の八人のうち最初の大統領）、そして1989年以後に数えて八番目の大統領、すなわち予言上の必然として「七人に属する第八」となる人物を表していた。

ワシントンは、1789で表される歴史において大統領であり、ランドルフと同様に「七に属する八番目」であったジョン・ハンコックによっても象徴される。ランドルフはワシ

トンを象徴していたので、ハンコックが「七に属する八番目」としてランドルフと一致するとき、ハンコックは1989以後の第八代大統領を表すことになり、その者は預言上の必然として「七に属する八番目」となる。

ランドルフ、ハンコック、ワシントン、リンカーン、そしてレーガンは、いずれも最後の大統領を象徴している。その証人のうち二人は、最後の大統領が共和党に属することを示している。二人は、最後の大統領が第八、すなわち七のうちの者であることを示している。1989年の終わりの時以後の八人の大統領のうち、存命の五人は、竜の勢力との戦争に関与しうる政治的イデオロギーを備えているのはトランプだけだと示している。

リンカーンの前任は民主党のジェームズ・ブキャナンであり、誠実な歴史家たちは彼をアメリカ史初期における最も無能な大統領と見なしている。その非力な指導力は、実質的には南北戦争を生み出した。リンカーンが就任宣誓を行う前に、南部諸州はすでに合衆国からの離脱を始めており、リンカーンの就任からわずか1か月後には最初の砲火が開かれた。ブキャナンは、リンカーンが收拾を余儀なくされた戦争へとつながる流れを作り出した。

レーガンの前任者は現代で最も無能な大統領だった。民主党のカーターは、イランにおける過激なイスラム主義に適切に対処できず、アメリカ合衆国の面目を失わせた。

トランプに先立って民主党のオバマが在任し、彼は文化的・政治的・経済的な分断を意図的に生み出し、それはその後さらに拡大した。彼の無能な指導力はブキャナンやカーターに代表される類のものだったが、彼が政権を担っていた時期には、主流メディアがアドルフ・ヒトラーの国民啓蒙・宣伝省に並行する形で姿を現し始めていた。米国の社会・政治・金融・宗教の諸制度に対するオバマの攻撃は、見ようとなしな者たちには覆い隠され、憲法を守ると宣誓した者としての彼の無能さも周到に隠蔽された。イランに拠点を置く急進的イスラムに適切に対処できなかったことで、オバマは米国に恥をかかせた。

トランプが2024年に再選され、1989年のレーガン以来8人目の大統領となると、彼の前任者はまたしてもグローバリストでドラゴンに後押しされた民主党員であり、いまや歴史上最も無能な大統領の座を手にし、イランに拠点を置く急進的イスラムに対処しようとして繰り返し米国に恥をかかせてきたが、現代の主流メディア（国民啓蒙・宣伝省を典型とする）がその明白な現実を再び葬り去ろうとしている。

レーガンが就任したとき、イランに拠点を置くイスラム過激派との未解決の危機は、民主党の大統領によって放置されていた。レーガンは、イランに代表されるイスラム過激派とアメリカ合衆国との間の緊張の流れを反転させるため、直ちに措置を講じた。トランプが就任したときも、イランに拠点を置くイスラム過激派との未解決の危機は、未解決のまま放置されていただけでなく、民主党の大統領によって資金提供までされていた。トランプは、イランに代表されるイスラム過激派とアメリカ合衆国との間の緊張の流れを反転させるため、直ちに措置を講じた。現職の民主党大統領は、トランプが成し遂げた進展をすべて覆し、バイデンの無能な指導によって、いまや全世界が第三次世界大戦へと引きずり込まれつつある。

それは、カーターの無力さに象徴されるイスラムへの対応や、オバマによるイスラムの推進だけでなく、戦争を始めたブキャナンの行い（それは共和党の大統領が解決しなければならなかった）にも合致する。

最初の共和党大統領と同様に、トランプは2020年の選挙でグローバリストの竜の勢力によって政治的に暗殺された。彼が通りで死んだものと見なされている間、地の獣のグローバリストと全世界のグローバリストは、黙示録第十一章の預言どおりに祝い始めた。

そして、彼らはその証しを終えると、底なしの淵から上ってくる獣が彼らに戦いを挑み、彼らに打ち勝って、彼らを殺す。彼らの死体は大いなる都の大通りにさらされる。そこは霊的には「ソドム」と「エジプト」と呼ばれ、わたしたちの主もそこで十字架につけられた。諸民族、諸部族、諸言語、諸国民に属する人々は、三日半のあいだ彼らの死体を見、彼らの死体が墓に納められることを許さない。地に住む者たちは彼らのことで喜び祝い、互いに贈り物を送り合う。というのも、この二人の預言者が地に住む者たちを苦しめていたからである。ところが、三日半ののち、神からのいのちの霊が彼らのうちに入り、彼らは自分の足で立ち上がった。それを見た者たちの上に大いなる恐れが臨んだ。黙示録 11:7-11。

いまや2024年となり、トランプはしっかりと立っており、2021年1月6日以来、喜び浮かれていたドラゴンの世界は、いま「大いなる恐怖」に直面している。主流メディア（MSM）はパニックに陥っている。彼ら自身のトーキングポイントが、古いロックンロールの歌にあるように「彼らが王に選んだあの疲れ切った老人」には、彼らの投票機がバイデンをトップに押し上げることができるようにするほど、トランプの数字に十分近い位置にとどまる能力がないのではないかという彼らの懸念を示し始めている。主流メディアはいまや、ヒトラー時代の国民啓蒙・宣伝省に匹敵するほどのプロパガンダ機関である。

この事実は、そうでない可能性を数学的にまったく許さないほどに繰り返し実証されてきた。新たなグローバリストの決まり文句が社会全体に持ち込まれるたびに、竜のプロパガンダ機構に支配されたさまざまな情報伝達の経路が、この出来事やあの問題を語る際に一語一句同じ言い回しを生み出していることが、繰り返し記録されてきた。

「telephone」あるいは時には「Chinese whispers」と呼ばれる昔ながらの子どもの遊びをご存じなら、人々が輪になって座り、ゲームの要領で、最初の人から次の人の耳元にささやき、そのささやきが輪の中を繰り返し伝えられていくうちに、当初それが表していたものとは必ず違うものへと変わってしまうことを知っているだろう。ところが主流メディアは、この国や世界中のすべての記者が、なぜか同じ言葉や言い回しを選んで、ある主題や出来事に関するドラゴンの立場を説明しているのだと、その信奉者に信じさせようとする。何百人ものいわゆるジャーナリストが同じ出来事を目にし、同じ結論に至っただけでなく、その出来事を描写するのに同一の言葉や言い回しまで選んだというのだ。

いま私たちが取り上げているのは、グローバリストのプロパガンダ機構への攻撃ではない。単に、地球上で現在進行している霊的な戦いの予言的な特質を指摘しているだけだ。キリストの時代、ユダヤ人は最終的にメシアを拒み、自分たちの王としてカエサルを公然と選んだ。その物議を醸した時期に、大祭司はキリスト殺害を正当化する論拠を示した。それはサタンの的で、誤った論理に基づくものだったが、同時に当たってもいた。

ところが彼らのうちの一人で、その年の大祭司であったカヤパという者が彼らに言った。「あなたがたはまったく何もわかっていない。ひとりの人が民のために死に、国全体が減びないで済むことが、私たちにとって得策だということを考えもしないのか。」彼がこう言ったのは自分からではなかった。その年の大祭司であったので、イエスはその国民のために死ぬことを彼は預言したのである。しかもそれはその国民のためだけではなく、散らされている神の子らを一つに集めるためでもあった。ヨハネ 11:49-52.

カヤパはキリストを攻撃するための理屈をでっち上げており、その過程で実際には正しい予言をしていた。彼は、キリストが人類のための犠牲である必要があるとは信じておらず、ただ彼を殺したかっただけだ。いま、ドラゴン勢力の主流メディアがトランプに対して同様のことを行っている。彼らは、トランプが再選されればアドルフ・ヒトラーのように独裁者になるのだと、人々に恐怖を植え付けようとしている。民主党は奴隷制を支持する政党で、ドイツに限られない世界的なプロパガンダ機構を含むナチ党の特徴を備えているが、彼らは、もしトランプが当選すれば民主主義が覆され、トランプがアドルフ・ヒトラーのような独裁者になると主張している。

まさにそれこそが、アメリカ合衆国の最後の大統領について神の御言葉が指し示していることだ。しかし、主流メディアは、竜に靈感を受けたカヤパのように、自分たちのトリーキングポイントが預言的で、実際に成就することを理解していない。

我が国は危機に瀕している。その立法者たちがプロテスタント主義の原則を放棄し、ローマ教会の背教を是認するほどになる時が、刻一刻と迫っている。神がかくも驚くべきみ業を行って彼らを強め、教皇制の重く苦しいくびきを投げ捨てさせたその民が、国家的な行為によってローマの腐敗した信仰に勢いを与え、こうして、ひとたび触れられさえすれば再び残虐と専制へと動き出すのを今やただ待っているあの圧政を呼び覚ますことになる。私たちはすでに、足早にこの時期へと近づいている。『預言の霊』第4巻、410頁。

米国の民主党の腐敗した要素、実はグローバリストである名目上の共和党員たち、そして世界の進歩主義的グローバリストを私が指摘していくと、読者は私が共和党やドナルド・トランプに何らかの政治的共感を抱いていると考えるかもしれない。これは事実とはまったく異なる。最後の大統領は独裁者になるのであり、主流メディアが予測しているとおりのだが、彼らは自分たちが実際に何を予言しているのかを、カヤパ同様、理解していない。私たちは、エゼキエルの「輪の中に輪」によって表される「人間の出来事の複雑な相互作用」に結びついた預言的ダイナミクスを、単に見極めているにすぎない。

次回の記事でこの研究を続けます。